

■ 特長

- ・モノラルミキシングアンプMCA1120と接続して、スピーカー増設可能
- ・PCA1120単体で、シンプルなBGMシステムにも使用可能
- ・120Wの高出力、ハイ/ ローインピーダンス両方に対応(100/70V、2/4/8Ω)
- ・スピーカー-EQやHPF 等により各スピーカーのパフォーマンスを引き出しつつ破たんを抑制
- ・各業態に最適な音空間を実現するBGMサウンドモード (BGM、カフェ/クリニック、アパレルの3モード)
- ・EIA規格のラックに適合した1Uハーフサイズ (別売の取付金具は1台置き、2台横連結の双方に対応)

■ 同梱品

- ・アンプ本体
- ・電源コード
- ・5ピンユーロブロック x 2個
- ・取扱説明書 (本書)
- ・安全上のご注意
- ・保証書

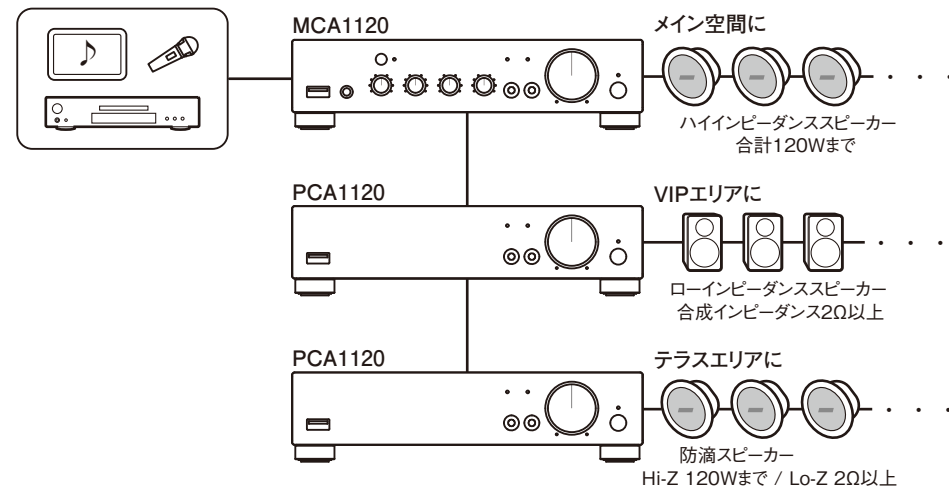
SN 29403543B



本製品は業務用機器のため、専門の施工業者による設置が必要です。

システム構成例

■ 構成例A：MCA1120のスピーカー増設用にPCA1120を使用する

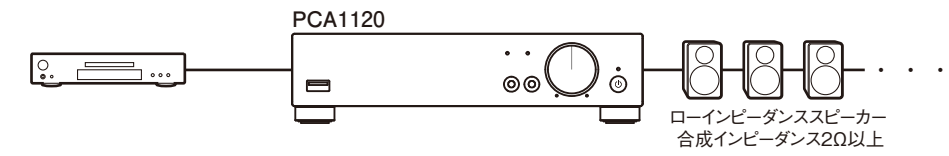


各アンプに違う種類のスピーカーを接続しても音が破たんしない仕様です。MCA1120でシステム全体の音量を調節し、PCA1120でそれぞれのエリアの微調整が可能です。

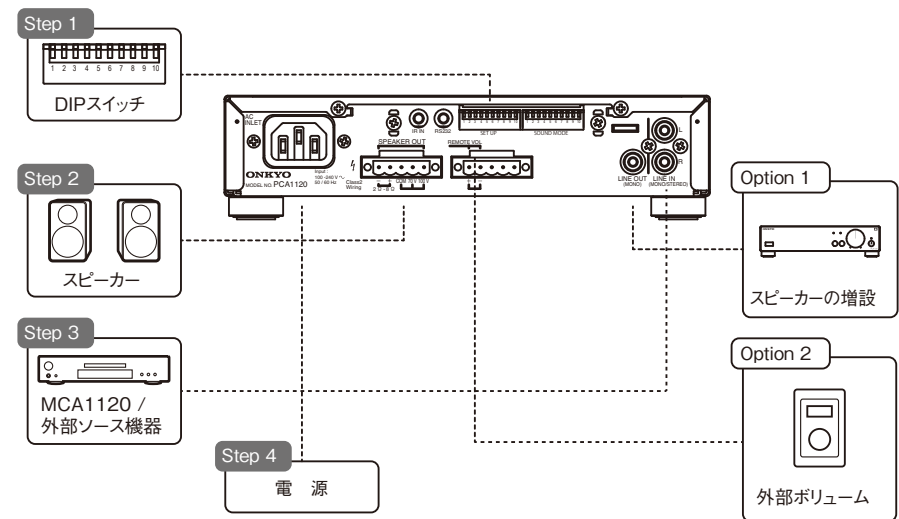
■ 構成例B：PCA1120にサブウーファーを接続して高音質を実現する

PCA1120には、サブウーファーを接続するためのフィルターも用意されています。

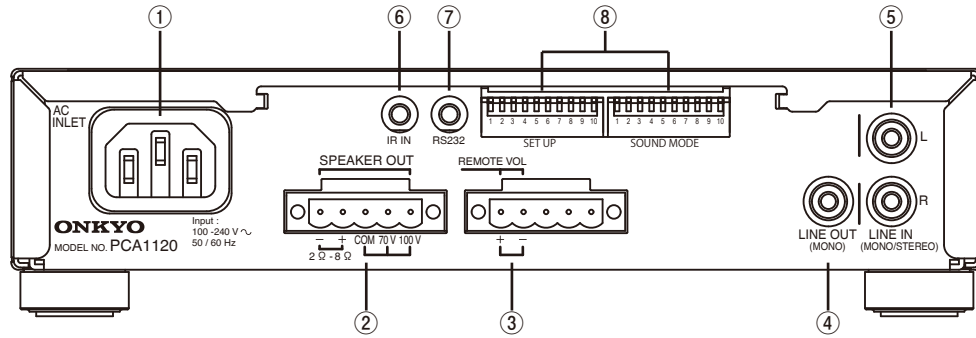
■ 構成例C：PCA1120単体で簡易なBGMシステムを構築する。



設定 Step



各部の名称と機能 (リアパネル)



- 電源入力端子 (IEC C13規格、定格 100V-240V 50/60 Hz)**
- スピーカー出力端子 (ユーロブロック)**
ハイインピーダンスとローインピーダンスでは接続箇所が違いますのでご注意ください。(⇒Step 2参照)
またDIPスイッチによる設定が必要です。(⇒Step 1参照)
RS232経由で、0-500msのDelay値を設定できます。
- リモートボリューム端子 (ユーロブロック)**
外部ボリュームを接続することで、本体とは別の場所でもボリューム調節ができるようになります。
- LINE OUT 端子 (RCAモノラル)**
モノラル出力端子です。RCAケーブルを使用して、別のPCA1120などの増設用パワーアンプを接続できます。
- LINE IN 端子 (RCAステレオ)**
RCAケーブルでMCA1120や、外部ソース機器と接続します。
- IR IN (3.5mmミニジャック モノラル or 2極)**
外部リモコン受光ユニットを接続する端子です。
- RS232 (3.5mmミニジャック ステレオ or 3極)**
外部コントロールシステムを接続する端子です。
誤動作を防止するため、RS232ケーブルを抜き挿しする際は電源コードを抜いてください。
- DIPスイッチ (10P x 2個)**
各種の設定に使用します。(⇒Step 1参照)

Step 1：DIPスイッチの設定

■ SET UP DIPスイッチ

重要：安全にご利用のため、必ず正しく設定してください。
SET UP DIPスイッチは、電源プラグを抜き20秒以上待って挿し直す等設定が反映されます。
DIPスイッチ操作後に電源プラグを抜かず使用すると、設定が反映されず接続機器を破損させる恐れがあります。

DIPスイッチ1：[Keylock]

[] 電源ボタンとマスターボリューム以外のフロントパネル操作をロックします。

1	<input type="checkbox"/> アンロック (ロックしない)
	<input type="checkbox"/> ロック

DIPスイッチ2：[Auto Standby]

LINE IN に音声入力がなく、かつ本機を2時間操作しなかった場合、自動的にスタンバイ状態にします。

2	<input type="checkbox"/> Off
	<input type="checkbox"/> On

DIPスイッチ3：[Auto Power On]

スタンバイ中にLINE INの信号を検出すると、自動的に電源をオンにします。

3	<input type="checkbox"/> On (LINE IN)
	<input type="checkbox"/> Off

DIPスイッチ4：[使用しない]

DIPスイッチ5：[Volume Control]

本機以外のボリュームコントローラーを使用する場合は、外部ボリューム(10kΩタイプ)または外部リモコン受光ユニット(IR)のいずれかを選択してください。

5	<input type="checkbox"/> 外部ボリューム(10kΩタイプ)を使用 または 外部コントロールを使用しない
	<input type="checkbox"/> リモコン受光ユニット(IR制御)を使用

DIPスイッチ6, 7：[IR Code]

外部リモコン受光ユニット(IR)を本機以外の弊社製品(Onkyoブランド)用にも兼用する場合、誤動作と混線を防ぐため、本機のリモコンコードのIDを切り替えます。
MCA1120のIDは変更できませんので、MCA/PCAのシリーズで使用される方はPCAのIDを変更してください。

6	7
<input type="checkbox"/> ID 1 (MCA1120と同じ)	
<input type="checkbox"/> ID 2	
<input type="checkbox"/> ID 3	

DIPスイッチ8：[SPEAKER OUT]

スピーカー出力をハイインピーダンスかローインピーダンスに切り替えます。

8	<input type="checkbox"/> ハイインピーダンス (70V / 100V)
	<input type="checkbox"/> ローインピーダンス (2Ω / 4Ω)

とても重要な設定です。DIPスイッチの設定とスピーカーのインピーダンスが合っていないと故障や火災の原因となります。

DIPスイッチ9：[Speaker Lo-Z]

SET UP DIPスイッチ8：[SPEAKER OUT]をローインピーダンスに設定した場合は、より詳細な設定が必要です。
複数台のスピーカーを接続する場合、合成インピーダンスを設定してください。
8Ωスピーカー2台なら合成インピーダンスは4Ω、4台なら2Ωとなり、接続台数によって設定が異なります。

9	<input type="checkbox"/> ローインピーダンス 4Ω以上
	<input type="checkbox"/> ローインピーダンス 2Ω以上 4Ω未満

とても重要な設定です。DIPスイッチの設定とスピーカーのインピーダンスが合っていないと故障や火災の原因となります。

DIPスイッチ10：[使用しない]

■ SOUND MODE DIPスイッチ

より良い音でご利用いただくためのオプション設定です。
SOUND MODE DIPスイッチは、電源がオンのままでも設定変更が反映されます。
音質を確認しながら設定を変えることができます。

DIPスイッチ1：[Music Optimizer]

MP3などの圧縮音声より良い音質にする効果があります。

1	<input type="checkbox"/> Off
	<input type="checkbox"/> On

DIPスイッチ2：[Subwoofer Mode]

本機のSPEAKER OUT端子にサブウーファーを接続する場合は[On]に設定してください。
この場合、SOUND MODE DIPスイッチ3, 4, 5：[HPF]の設定値は、通常のハイパスフィルターではなく、ローパスフィルターの設定値となります。

2	<input type="checkbox"/> Off
	<input type="checkbox"/> On

DIPスイッチ3, 4, 5：[HPF](High Pass Filter)

本機の用途によって設定が異なります。

- MCA1120のスピーカー増設用 または 本機単体使用 の場合
本機に接続するスピーカーに合わせて、ハイパスフィルターを設定してください。

- MCA1120のサブウーファー出力用として使用する場合
DIPスイッチ2：[Subwoofer Mode]を[On]に設定すると、本設定はサブウーファー出力用のローパスフィルターの設定に変わります。

3	4	5
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 50 Hz		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 40 Hz		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 60 Hz		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 70 Hz		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 90 Hz		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 150 Hz		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 200 Hz		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Off (フィルターを使用しない または スピーカーEQを使用する)		

Note：ハイインピーダンスのスピーカーを使用する場合は、[Off]にしないでください。[Off]ではアンプの保護機能が働く可能性があります。
RS232経由で、IIRフィルターとFIRフィルターの切り替えができます。初期値はIIRフィルターになります。

DIPスイッチ6, 7：[BGM Mode]

設置環境に合わせたサウンドモードを選択します。
MCA1120の増設用として使用する場合は、[Off]に設定してください。
MCA1120で設定した[BGM Mode]の効果はPRE OUT音声に反映されるため、本機での設定は不要です。

6	7	MCA1120の増設用
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Off		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> カフェ・クリニックモード		飲食店・クリニック向き 心が安らぐ空間を演出
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アパレルモード		衣料店向き 活気ある空間を演出
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> BGMモード		多くの物販店向き 心地よい空間を演出

Note：MCA1120とはDIPスイッチの設定値と対応するモードが異なりますのでご注意ください。

DIPスイッチ8, 9, 10：[Preset EQ for Loudspeaker](スピーカーEQ)

スピーカーに合わせたEQを設定します。

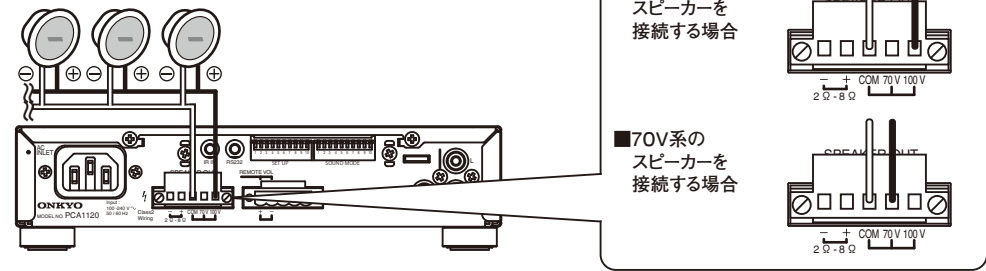
8	9	10
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Off		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 1：Onkyo用リザーブ		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 2：Onkyo用リザーブ		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 3：Onkyo用リザーブ		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 4：Onkyo用リザーブ		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 5：B16		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 6：B40		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 7：J24CTM		

Step 2：スピーカー接続

スピーカーの設定/接続には細心のご注意を。
これらを間違えると、故障や火災の原因になります。

- ・電源コードは最後に接続します。ここではまだ、電源コードは接続しないでください。感電の原因となります。
- ・ご使用になるスピーカーのインピーダンスに合わせて、DIPスイッチの設定とユーロブロックの接続位置を確認してください。 これらを間違えると重大な事故につながる可能性があります。

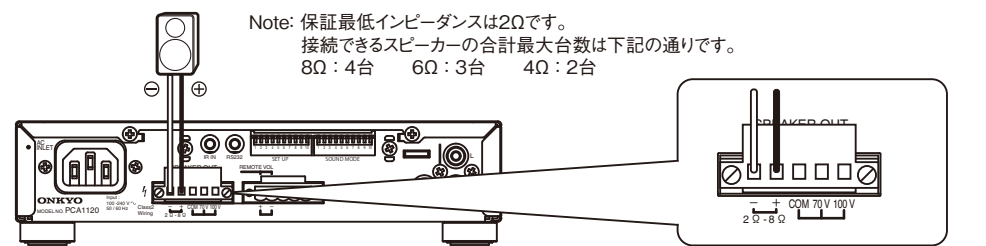
■ ハイインピーダンススピーカー接続



- SET UP DIPスイッチ8：[SPEAKER OUT]を[ハイインピーダンス]に設定する。
- SPEAKER OUT の [100V]端子 または [70V]端子とスピーカーの[+]端子、SPEAKER OUT の [COM]端子とスピーカーの[-]端子をスピーカーケーブルで接続する。

- ・70V系と100V系を同時に接続しないでください。
- ・接続するスピーカーの定格入力合計は、必ず120W以下に取ってください。

■ ローインピーダンススピーカー接続



- SET UP DIPスイッチ8：[SPEAKER OUT]を[ローインピーダンス]に設定する。
- SPEAKER OUT の [+]端子とスピーカーの[+]端子、SPEAKER OUT の [-]端子とスピーカーの[-]端子をスピーカーケーブルで接続する。

- ・ローインピーダンスのスピーカーをハイインピーダンス用端子に接続しないでください。
- ・複数のスピーカーを接続する場合、合成インピーダンスがSET UP DIPスイッチ9：[Speaker Lo-Z]で設定した値の範囲内でご使用ください。

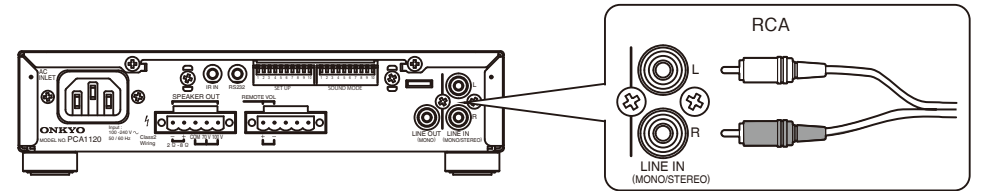
■ サブウーファーを接続する場合

サブウーファーのインピーダンスを確認し、スピーカー接続と同様に上記のどちらかの手順で接続してください。

Step 3：MCA1120または外部ソース機器接続

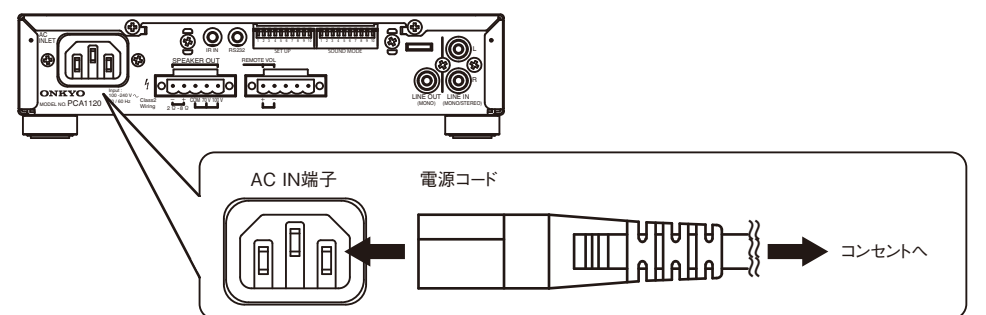
ステレオ信号は、内部でモノラルにミキシングされます。

■ LINE IN接続



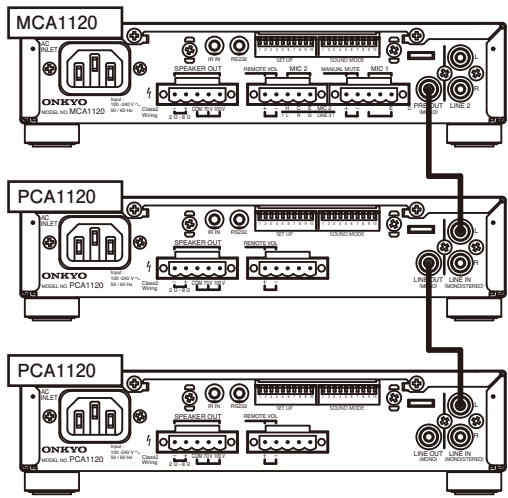
- ・MCA1120や外部ソース機器の出力をRCAケーブルでLINE IN 端子に接続する。
モノラル機器を接続するときは、L/Rどちらかの端子に接続してください。

Step 4：電源接続



- ・付属の電源コードをAC電源入力端子に接続し、電源プラグをコンセントへ挿し込む。

Option 1 : MCA/PCAシリーズを使ったスピーカーの増設



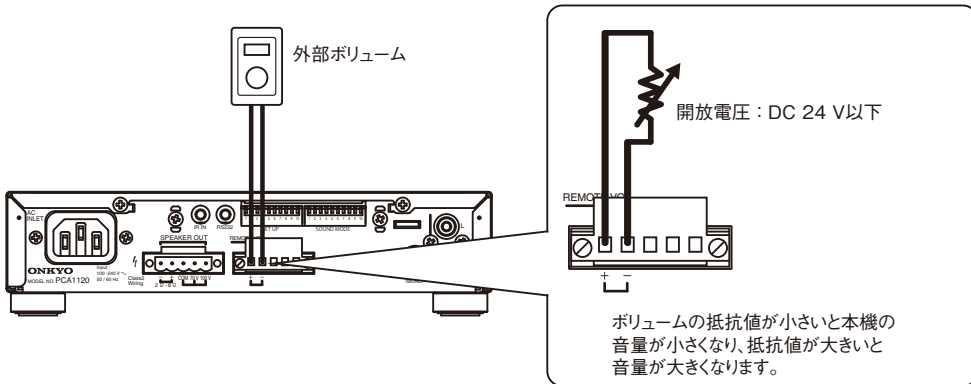
- MCA1120のPRE OUT端子とPCA1120のLINE IN端子のL/RどちらかをRCAのモノラルケーブルで接続する。
- PCA1120の取扱説明書に従い、DIPスイッチの設定とスピーカーの接続を行なう。
- 更に拡張する場合は、PCA1120のLINE OUT端子から次のPCA1120にシリーズに接続する。

MCA1120とPCA1120をペアで使用するメリット

- MCA1120とPCA1120を接続することで、スピーカーの本数を増やしたり、低音を増強するなどの多彩なシステム拡張が可能
- MCA/PCAは独立でスピーカーEQやHPFの設定ができるため、それぞれに別品種のスピーカーを接続可能
- MCA1120のアリアウトはボリューム連動するため、スピーカーを増設してもシステム全体の音量調整がしやすい
- PCA1120のボリューム位置を中央(12時)にするとMCA1120と音量が揃い、各スピーカーのレベルを合わせやすい
- エリアごとにPCA1120を使用すれば、それぞれ独立して音量調節することも可能

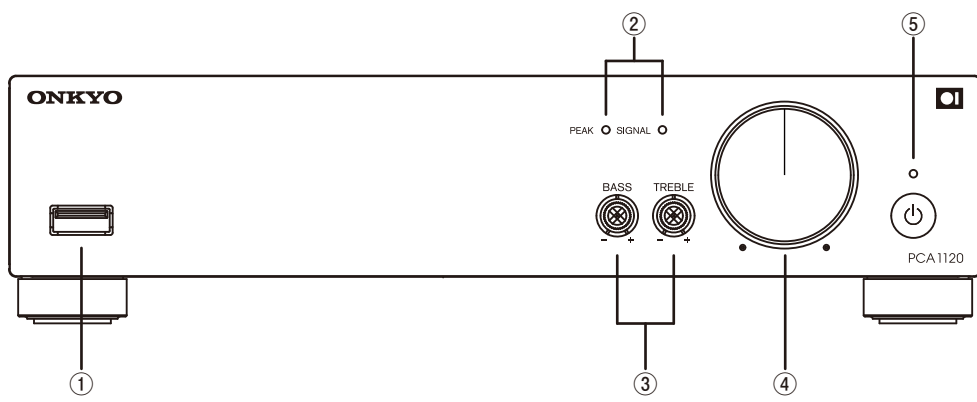
Option 2 : 外部ボリューム制御

市販の外部ボリューム(10kΩ、Bカーブタイプ)を接続して、本機出力レベルを制御できます。外部ボリュームと本機のマスターボリュームは掛け合わせ動作のため、どちらかのボリュームを絞ると、それ以上の音量が出ません。



- SET UP DIPスイッチ5:[Volume Control]を[外部ボリューム(10kΩ)]に設定する。通常は使用しません。
- 市販の外部ボリューム(10kΩ、Bカーブタイプ)を接続する。

各部の名称と機能(フロントパネル)



① USBサービス用端子

通常は使用しません。

② SIGNAL / PEAKインジケータ

SIGNALインジケータ

スピーカー出力レベルが大きい値(定格出力から-46dB近辺)以上になると点灯します。音量が小さい場合は点灯しないこともありますが、目安です。問題ありません。ミュート時には点滅します。

(IR INまたはRS232接続のコントローラーによりミュートできます。本機ではミュート操作はできません。)

PEAKインジケータ

スピーカー出力レベルがピーク(定格出力から-3dB近辺)に達した場合に点灯します。常灯している状態では、音声が入る可能性がありますので、音量を調節してください。

③ BASS / TREBLEコントロール

BASS (低域)とTREBLE (高域)の音量をそれぞれ-10dB→+10dBの間で調整できます。小型のドライバーなどで操作してください。

④ マスターボリューム

スピーカーに出力する音量を調節します。

MCA1120と接続した場合は、12時の位置でMCA1120とほぼ同じ音量になります。(電源オン時のボリューム位置を、ボリューム位置設定後、[◎]電源ボタン長押しで設定することができます。長押し5秒後はインジケータが赤色に点滅し、その10秒後以降に赤色と橙色が交互に点滅するのを手を離します。解除する場合は、長押し5秒後にインジケータが赤色に点滅し、その10秒後以降に赤色と橙色が交互に点滅したら、電源ボタンを押したまま電源プラグを抜いてください。)

⑤ [◎]電源ボタン / インジケータ

電源のスタンバイとオンを切り替えます。インジケータは、以下のように点灯します。

スタンバイ時 赤色

オン時 緑色

RS232経由で、電源投入時に電源をオンに設定することができます。

困ったときは

症状	原因	対策 / 手順
電源が入らない	電源コードが抜けている。 機器の保護機能が働いた。	電源コードを接続してください。 電源プラグを抜き、スピーカー接続を確認してください。 その後、数分してから電源を入れ直してください。
Auto Power Onを設定しているのに、電源が入らない	再生しているタブレットや外部ソース機器の出力レベルが小さい。	タブレットや外部ソース機器の音量を上げてください。
すべての入力で ・音が出ない ・音が小さい ・音が歪む ・雑音がある	[マスターボリューム]のレベルが適切でない。 接続したスピーカーの特性、スピーカーの設定、接続した端子が合っていない。	[マスターボリューム]を適切な位置(目印か中央付近)に戻してください。 本機とスピーカーの、インピーダンスの設定/接続を合わせてください。 また、以下の点を確認してください。 ・最大定格を超える機器を接続していないか ・複数台のスピーカーを接続している場合、合成特性(合計ワット数や合成インピーダンス)が本機の定格を超えていないか
インジケータが点滅し ・電源が入らない ・音が出ない ・音が途切れる	接続したスピーカーの特性(仕様)、スピーカーの設定(DIPスイッチ)、接続した端子(ユーロブロック)が合っていない。	本機とスピーカーの、インピーダンスの設定/接続を合わせてください。 また、以下の点を確認してください。 ・最大定格を超える機器を接続していないか ・複数台のスピーカーを接続している場合、合成特性(合計ワット数や合成インピーダンス)が本機の定格を超えていないか
本機のマスターボリュームを回しても一定の音量以上、上がらない。	Bass / Trebleの効果が極端な設定になっている。	[Bass] / [Treble]コントロールで適切な状態に調整してください。
スピーカーケーブルがショートしている。	スピーカーケーブルがショートしている。	スピーカーケーブルの接続を見直してください。
機器内部の温度が異常に高くなっている。	機器内部の温度が異常に高くなっている。	電源プラグを抜いて風通しのよいところに放置し、数分後に電源を入れ直してください。 放熱孔をふさがないように注意し、温度が上昇しない場所に設置してください。
操作ができない。	操作ロックが設定されている。 電源ボタンとマスターボリューム以外の操作ができない。	SET UP DIPスイッチ1:[Keylock]の設定を[Unlock]にしてから、電源プラグを抜き20秒以上待って挿し直してください。
動作が不安定	—	本機を再起動すると改善することがあります。 電源が入っている状態で、電源ボタンを5秒以上押し、赤色のスタンバイインジケータが点滅しますので、ボタンを離してください。

「困ったときは」について、より詳細な情報をWebに掲載しています。
<https://www.onkyo-mc.com/amplifier>
 それらを参照しても症状が改善しない場合は、オンキヨーオーディオコールセンターへお問い合わせください。



Webサイト

冷却用ファンなど一部の部品は消耗品のため、劣化に応じて部品の交換が必要になります。交換については、お買い上げ店またはオンキヨーオーディオコールセンターまでご連絡ください。

主な仕様

Speaker Output	Lo-Z (2Ω)	Lo-Z (4~8Ω)	Hi-Z (70, 100V)	測定条件 / Measurement Condition	
定格出力 / Rated Power	120W × 1ch	120W × 1ch(4Ω) 80W × 1ch(6Ω) 60W × 1ch(8Ω)	120W × 1ch	1kHz	
全高調波歪率 / THD+N	≤0.5 %	≤0.5 %	≤1.0 %	1kHz @ Full Rated Power	
周波数特性 / Frequency Response	20 Hz - 20 kHz(+0dB, -6dB)		Reference 0dB @ 3W, 1kHz		
SN比 / Signal-to-Noise Ratio	≤-90dB		with IEC-C filter		
Input	LINE				
入力端子 / Input Terminal	Stereo RCA Unbalanced	---	---	---	
排他入力 / Exclusive Input	---	---	---	---	
入力感度 / Input Sensitivity	-10dBV	---	---	---	
入力インピーダンス / Input Impedance	14kΩ	---	---	---	
Output	Lo-Z (2Ω)	Lo-Z (4~8Ω)	Hi-Z (70V)	Hi-Z (100V)	LINE OUT
出力端子 / Output Terminal	Euroblock Balanced (-/+)	---	Euroblock Balanced (COM / 70 or 100V)	---	Monaural RCA Unbalanced
最大出力レベル / Max. Output Voltage	15.5Vrms	22Vrms	70Vrms	100Vrms	1Vrms
定格負荷 / Rated Load	2Ω	4~8Ω	41Ω	82Ω	2kΩ

総合 / General	
使用温度範囲 / Operating Temperature	0 - 40 °C @ Non-condensing (結露無きこと)
電源 / Power Supply	AC100 - 240V(50/60 Hz)
消費電力 / Power Consumption	215W @ Rated Power, 10W @ Idling
外形寸法 / Dimensions	1 RU high (w/o Feet), half rack wide 8.5 W x 2.2 H x 12.6 D [inch](w/o legs 1.75H) 215 W x 55 H x 319 D [mm](w/o legs 44.5H)
本体質量 / Product Weight	3.6kg(7.9lbs)
別売オプション / Option	Mixing Power Amplifier : MCA1120 Rack Mount Kit : IRK-44-3

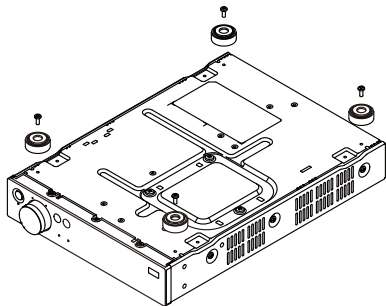
仕様および外観は予告なく変更することがあります。

設置について

- 通気孔をふさがないでください。
- 大音量で長時間再生すると、温度上昇により保護機能が働き、音量が下がる場合があります。

■ ラックマウントの場合

- 本機の底面にねじ止めされている足4本を外す。

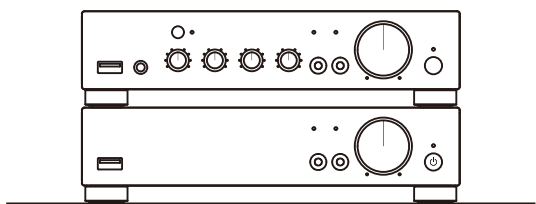


- 別売のラックマウント金具[IRK-44-3]の取扱説明書に従い、本機に取り付ける。

- 本機をラックに固定する。

■ 重ね置きする場合

重ね置きをする場合は、上部に十分な放熱用の空間を確保してください。また、機器同士が接しないよう、付属の足は外さないでください。



オーディエス株式会社
ODS Corporation

〒104-0041 東京都千代田区神田須田町2-5

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：
 オンキヨーオーディオコールセンター ☎ 050-3161-9555
 受付時間 10:00~18:00 (土・日・祝日・弊社のでめる休業日を除きます)